

■「環境公共」事例紹介

東青地区緑の少年団交流集会（環境公共推進プロジェクト）

令和2年度10月1日（日）、外ヶ浜町おぐにふるさと体験館において東青地区緑の少年団交流集会を行いました。

この交流集会は、ヒノキあすなろ緑の少年団と今別緑の少年団の2団体が参加し、森林や林業、水循環の仕組みなどについて体験してもらう機会として開催されたイベントです。

開会式では、当部からプログラムを説明するとともに、少年団員全員に異なる種類の植物の葉一枚を配り、同じ種類の葉をもつ団員どうしで班編成を行いました。

はじめに、各班で簡単な自己紹介をし、各班で思いつく木の名前を紙に記入していき、最後にどれだけ木の名前が出たかを班の代表者が発表し、数を競い合いました。

次に、各班対抗で森林や林業にまつわるクイズすごろくゲームを行いました。一番早くゴールするために皆さん真剣にクイズに答えている様子でした。

最初は、初対面で慣れない様子でしたが、ゲームを行う中でだいぶ打ち解けた様子でした。

ゲーム終了後は、当職員から水循環に関する説明を行い、水が自然の中を循環し、やがて私たちのもとへ帰ってくるという話に少年団の皆さんは耳を傾けていました。



クイズすごろくゲームの様子



水循環の説明を聞く様子

昼食後は、最後のイベントであるリンゴの枝を活用したペンとペン立て作りを行う木工体験を行いました。リンゴの枝先を鉛筆削りで先をとがらせ、あらかじめあけられた穴にペンを通し、グルーガンやマスキングテープを使い装飾を行いました。みなさん思い思いに自分の作品を仕上げいき、最後はお互いに完成した作品を見せ合っていました。



ペンを製作している様子



少年団全員で記念写真

作業終了後には各班の代表者が今日のイベントの感想を述べてイベントのふりかえりを行い、そのあとで今回参加した団員で集合写真を撮り本日のイベントは終了しました。

今回の交流集会を通じて、青森県の森林、林業、水循環に関して少年団の皆さんに興味を持っていただいたので、来年度以降も引き続き開催を予定しています。

「環境公共」HP

<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>

